

## 競争入札経過調書（総合評価落札方式(除算方式)）

件 名 御宿VORTAC局舎改修工事

開札年月日 令和6年8月7日 （落札決定日 令和6年9月9日 ）

入札執行官署 東京航空局

落札金額 ￥8,453,643 -

落札者 ゆうき総業株式会社

予定価格 ￥13,387,000 -

積算額 ￥13,387,000 - 入札書比較価格（予定価格の100/110） ￥12,170,000 -

調査基準価格 ￥12,144,000 - 調査基準価格の100/110 ￥11,040,000 -

基準評価値 821.692

低入札価格調査実施済 第1回 落札

入札参加者	評価点 (満点112点)	第1回入札			第2回入札			摘要
		入札金額	評価値	評価値 ≥ 基準評価値	入札金額	評価値	評価値 ≥ 基準評価値	
ゆうき総業株式会社	104.0	7,685,130	1,353.262	○				第1回 落札
株式会社イッシン	106.0	11,000,000	963.636	○				
株式会社建真	-	辞退	-					

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額である。

※ 予定価格（入札書比較価格）の範囲内の入札金額であり、評価値の最も高い者を落札者とする（なお、その範囲に満たない入札金額の場合は、各点数を表示しない。）。

※ 評価値は、評価点を各回入札の入札金額（億単位換算）で除して算出する（小数点以下第3位まで表示）。

※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額（1円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。



## 低入札価格調査の実施概要

工 事 名 : 御宿VORTAC局舎改修工事

調査を実施した業者名・住所 : ゆうき総業株式会社 山形県上山市藤吾字三辻464

項 目	内 容
① その価格により入札した理由	調査対象者に確認した結果は以下のとおりであった。作業員の労務費、資材の購入費、現場の安全管理に係る費用、及び現場管理業務に係る費用を考慮した結果、予備費も計上可能な施工金額であることから、本件は施工可能であると判断したことを確認した。また入札金額は、社内で検討を重ね、コストの縮減を図るとともに、これまでの施工実績と技術力に基づき工事価格を算出したうえで決定したことを確認した。
② 契約対象工事付近における手持工事の状況	該当なし。
③ 契約対象工事に関連する手持工事の状況	該当なし。
④ 契約対象工事箇所と入札者の事業所、倉庫等の関連（地理的条件）	契約対象工事箇所と事業所および倉庫は約400km。施工にあたっては、労務者用の宿泊場所を近傍に借り上げし、そこから通勤して施工する予定であることを確認した。
⑤ 手持資材の状況	該当なし。
⑥ 資材購入先及び購入先と入札者との関係	本工事に使用する資材購入先においては、主要となる防水材及び防水型複層塗材を自社と資本提携のある業者からの購入を予定しており、不適切なものではないと判断した。
⑦ 手持機械数の状況	高圧洗浄機、攪拌機等の機械を保有しており、本工事に於いても活用する予定であることを確認した。
⑧ 労務者の具体的供給見通し	本工事の各工種で使用する労務者については、長年にわたる取引関係を有する下請け企業を使用し、施工に十分な人員の配置を計画しており、労務者の確保・配置計画共に不適切なものではないと判断した。
⑨ 過去に施工した公共工事名及び発注者	当局発注工事での実績はないものの、他省庁及び独立行政法人等が発注する同種工事を複数受注しており、十分な施工実績があると判断した。
⑩ 経営内容	過去にも官公庁発注の工事を受注しており問題無い。
⑪ 1 から10までの事情徴収した結果についての調査検討	入札価格の内訳について、直接工事費のうち、「外構改修」で大きな乖離があるものの、長年にわたる取引によって築いた信頼関係のある予定下請業者の協力と、モルタル等の資材を元請けから材料支給することにより、コストを縮減することで設定できる金額であることを確認した。なお、ヒアリングの結果、仕様書で求める施工内容について誤認がないことを確認している。また、調査対象者は、当局が公開した数量をもとに入札価格を計上しており、設計図書で定めている仕様及び数量は合致していることを確認している。乖離の見られる共通費については、直接工事費に対する一定の率で機械的に算定せず、現場の安全管理や業務に必要な費用を個別に積み上げて算出することで、コスト縮減を図りつつ必要な経費は適切に計上されていることを確認した。また、調査対象者は当局発注工事の受注実績が無く、本件で受注実績を作りたいとの考えがあることから、企業努力により最低限の利益を確保した上で儲けの部分の費用を抑制したことをヒアリングにて確認した。なお、本工事の主要工種である「防水工事業」の許可を自前で取得していることから、本来必要となる当該工種にかかる経費も縮減できていることをヒアリングにより確認した。以上のことから、契約内容に適合した履行は可能であると判断した。
⑫ 公共工事の成績情報	過去の実績において概ね良好に施工されている。
⑬ 経営状況	特に問題なし。
⑭ 信用状況	特に問題なし。
⑮ その他の必要事項	特になし。